

日鉄テックスエンジ 大分建設センター



施設概要

新築/改修	新築	建物用途	事務所
所在地	大分県大分市	建築面積	265㎡
地域区分	7地域	延べ面積	509㎡
竣工年月	2021年12月	構造	鉄骨造 (薄板軽量形鋼造)
発注者	日鉄テックスエンジ(株)	階数	地上2階
設計者	日鉄テックスエンジ(株)	ZEBランク	ZEB Ready
施工者	日鉄テックスエンジ(株)		

建物仕様

屋根	押出法 [※] リスルフォーム3種 40mm	空調	パッケージエアコン
外壁	押出法 [※] リスルフォーム3種 25mm	換気	—
土間下	押出法 [※] リスルフォーム3種 25mm	照明	LED照明器具
窓	アルミサッシ	給湯	—
遮蔽・遮熱	—	昇降機	—
		創エネ	—
		その他	—

設計コンセプト

日本製鉄のグループ会社として、全国の製鉄所に拠点を置き、建設・電気・機械・ロボティクス・操業技術と、幅広いものづくりに携わる総合エンジニアリング会社である。カーボンニュートラルは鉄鋼業界でも大きな課題であり、建築物でのアプローチとして大分製鉄所内にZEB性能の事務所を新設した。

構造形式は、日本製鉄の独自工法である「NSスーパーフレーム工法」を採用。本工法は、工場生産された壁・床・屋根パネルを現地で組み立てる工業化工法で、現場での溶接・コンクリート打設作業の省略は、環境負荷を軽減するとともに、工期短縮も実現する。今回は、ZEB Ready性能を目標とし建設したが、将来、太陽光発電を設置することにより『ZEB』を取得することも可能である。

グリーン化の取り組み

- ・外張断熱通気工法により、高い断熱性能と気密性能を確保（全地域区分に対応可能な、断熱材の組合せを用意）。
- ・木質廃棄物100%のリサイクル材料であるパーティクルボード、「テックスエンジファインボード」を使用し、CO2排出量を削減。
- ・空調設備に、COP性能の高い高効率エアコンを採用。
- ・照明設備は、全てLEDを採用。執務室は人感センサーにより在室状況を検知し、点灯制御を実施している。

設計一次エネルギー消費量 [MJ/㎡・年]

